

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	景観政策課
施策	15	良好な景観の形成	評価 責任者	藤村 淳 内線 7290
小施策	15-1	景観保存対策の充実	評価 シート 作成者	村上 智 内線 7295

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡らしい都市景観形成の実現のため、各地域の景観特性が活かされた景観形成を図る必要がある。 ・盛岡固有の佇まいを残す盛岡町家などの歴史的景観を保全・継承する必要がある。 ・優れた自然環境と歴史的環境とが調和する個性豊かな都市環境を次世代に継承していく必要がある。 	景観計画に基づき、地域の特徴を生かした景観形成促進地区などの指定を行なうとともに、優れた景観や建造物などの保全・活用について、市民との協働による取組を進め、景観に配慮した快適で美しく活気ある街並み形成を進める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
街並み、山並み 市民・建築関係者	優れた景観が守られる。 景観に対する意識が高まる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点
まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	%	↗	当初値 (H25) 70.1 H31目標値 74.7 H36目標値 79.3 70.1 70.8 69.7 65.9	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等の保存建造物に対する認識を高めた。 ・市街地の豊かな歴史的環境が維持された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市所有の保存建造物の公開により、広く市民等に観覧する機会を設けた。 ・民間所有の保存建造物の改修に支援を行なうとともに、市所有の保存建造物の修繕を行なうことにより、健全な維持保全につながった。 ・景観重要樹木の樹勢診断をおこなうことにより樹木の状態の把握、維持保全を行なった。
			問題点	問題の要因分析	
			<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合が減少している。 ・保存建造物の老朽化の改善のため、計画的な改善が必要となってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助要件に合致する申請がなく、歴史的街並み修景事業を実施することが出来なかった。 ・所有者の高齢化により維持管理が難しくなってきたこと、改修に伴う多額の負担が伴うことによる。 	
まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園・丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	%	↗	当初値 (H25) 59.6 H31目標値 69.4 H36目標値 79.3 59.6 59.6 52.3 52.3	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な景観が維持された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重要樹木の樹勢診断をおこなうことにより樹木の状態の把握、維持保全を行なった。
			問題点	問題の要因分析	
			<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園・丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合が増加しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田園・丘陵地は新たな建造物等が建設されることが、抑制される地域であり新たな景観要素の増加を見込むことは困難であることから、景観重要樹木などの景観要素の維持保全を図る。 	
まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	%	↗	当初値 (H25) 69.9 H31目標値 74.6 H36目標値 79.3 69.9 71.1 66.6 65.3	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な景観が維持された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重要樹木の樹勢診断をおこなうことにより樹木の状態の把握、維持保全を行なった。
			問題点	問題の要因分析	
			<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山間地は新たな建造物等が建設されることが、抑制される地域であり新たな景観要素の増加を見込むことは困難であることから、景観重要樹木などの景観要素の維持保全を図る。 	

今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 保存建造物の公開により景観意識の向上を図る。 ★ 保存建造物等の改修事業に係る財源の拡充のため、国の補助制度の活用を図る。 ★ 保存建造物等の改修補助や歴史的街並み修景事業の制度等の周知を図る。 ★ 保存建造物、景観重要樹木等の維持保全を図る 	
<ul style="list-style-type: none"> ★ 景観要素である景観重要樹木の維持保全を図る。 ★ 小施策15-2「良好な景観形成の誘導」の事業と連携し、都市景観シンポジウム等で良好な景観の周知や各種補助事業の周知を図る。 	
<ul style="list-style-type: none"> ★ 景観要素である景観重要樹木の維持保全を図る。 ★ 小施策15-2「良好な景観形成の誘導」の事業と連携し、都市景観シンポジウム等で良好な景観の周知や各種補助事業の周知を図る。 	